

2024 年鹿児島県看護職員の賃金に関する病院実態調査
報告書

公益社団法人 鹿児島県看護協会
看護師職能委員会 I

鹿児島県における看護職員就業者数は、令和2年の33,396人をピークに令和6年32,272人と1,124人減少している。看護師等学校養成所の入学者数も令和2年の1,619人から減り続けており、令和6年度は1,075人と554人の減となっている。また、卒業生の県内就業率は令和7年3月卒で57.8%となっており、全国平均73.0%を大きく下回っている。この県内就業率の低さの原因の一つは、賃金の低さとも言われており、令和6年厚生労働省「賃金構造基本統計調査」の結果によると、全国平均年収が449.2万円に対し、鹿児島県看護師の平均年収は409.2万円でワースト1位という結果になっている。

そこで、鹿児島県看護協会は、看護職の確保・定着に資することを目的に「2024年鹿児島県看護職員の賃金に関する病院実態調査」を実施し、日本看護協会が実施した「2024年度看護職員の賃金に関する病院実態調査」結果との比較により、県内病院における看護職員の賃金の現状を明確にした。

I. 調査概要

1. 調査期間 2025年1月20日～2月21日

2. 調査方法

1) 郵送法によるアンケート調査

2) 日本看護協会「2024年度看護職員の賃金に関する病院実態調査」の調査項目16項目中13項目を抜粋（問2,3,4を省略）し、定年制度について1項目追加

3) 日本看護協会「2024年度看護職員の賃金に関する病院実態調査」結果との比較

3. 調査対象 鹿児島県における病院229施設の看護管理者代表者

4. 回答施設数59（回収率25.7%）

II. 回答病院の属性

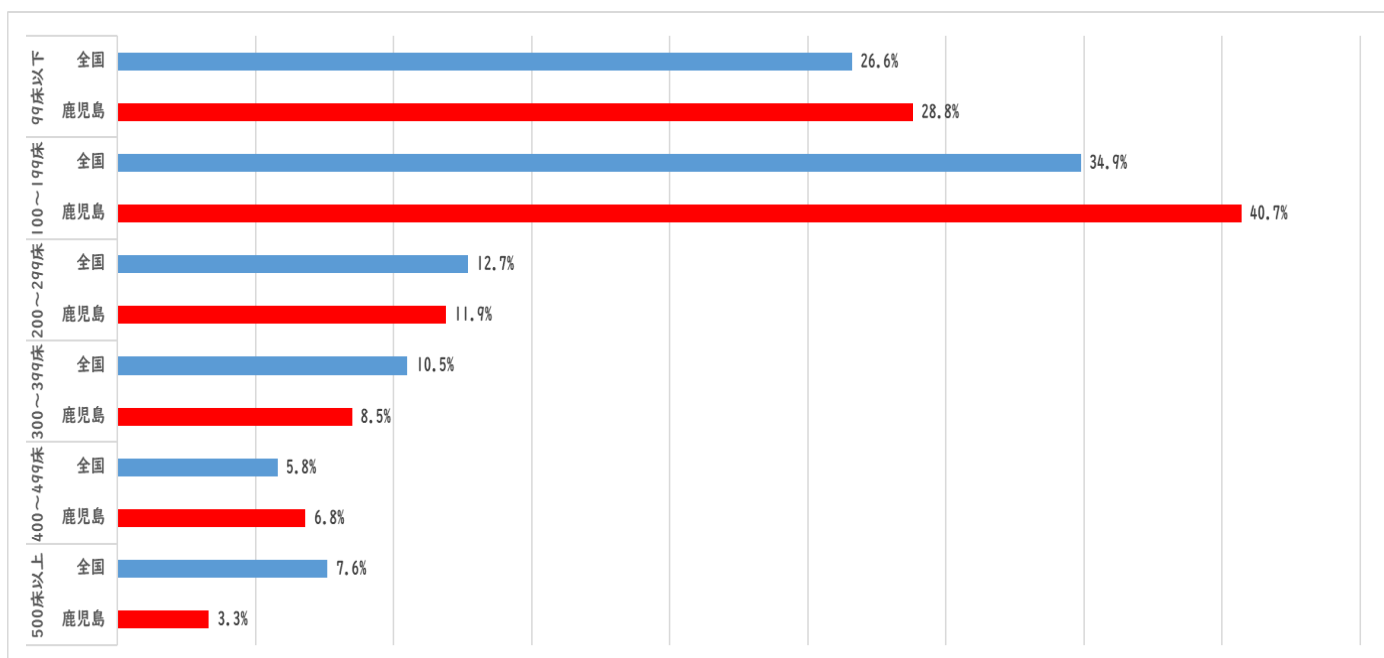
1. 回答病院の設置主体別割合

回答病院の設置主体別割合は全国と比較すると、国・公立は少なく、医療・社団法人が多い。

	全国	鹿児島
国・公立（労働者健康安全機構, 地域医療機能推進機構, 一部事務組合, 地方独立行政法人, 効率大学法人含む）	757	8
	21.8%	13.6%
医療・社団法人（社会医療法人, 公益社団・財団法人, 一般社団・財団法人, 宗教法人等含む）	2065	45
	59.5%	76.3%
公的団体（日本赤十字社, 済生会, 厚生農業協同組合連合会等）	250	4
	7.2%	6.8%
その他 （医師会立, 私立学校法人, 社会福祉法人, 医療生協, 会社, 個人等）	392	2
	11.3%	3.4%
無回答・不明	6	0
	0.2%	0.0%
合計	3471	59
	100.0%	100.0%

2. 回答病院の病床規模

病床規模別回答割合を全国と比較してみると、ほぼ同様の割合となっているが、県全体の施設割合と比較すると99床以下の回答施設割合が低く、小規模施設の実態が反映されていない可能性がある。



回答施設割合と県全体の施設割合との比較

	99床以下	100～199床	200～299床	300～399床	400～499床	500床以上
回答施設数	28.8%	40.7%	11.9%	8.5%	6.8%	3.3%
県施設数	45.4%	37.1%	8.7%	4.8%	2.2%	1.8%

II. 賃金制度

1. 賃金表の有無と公開状況

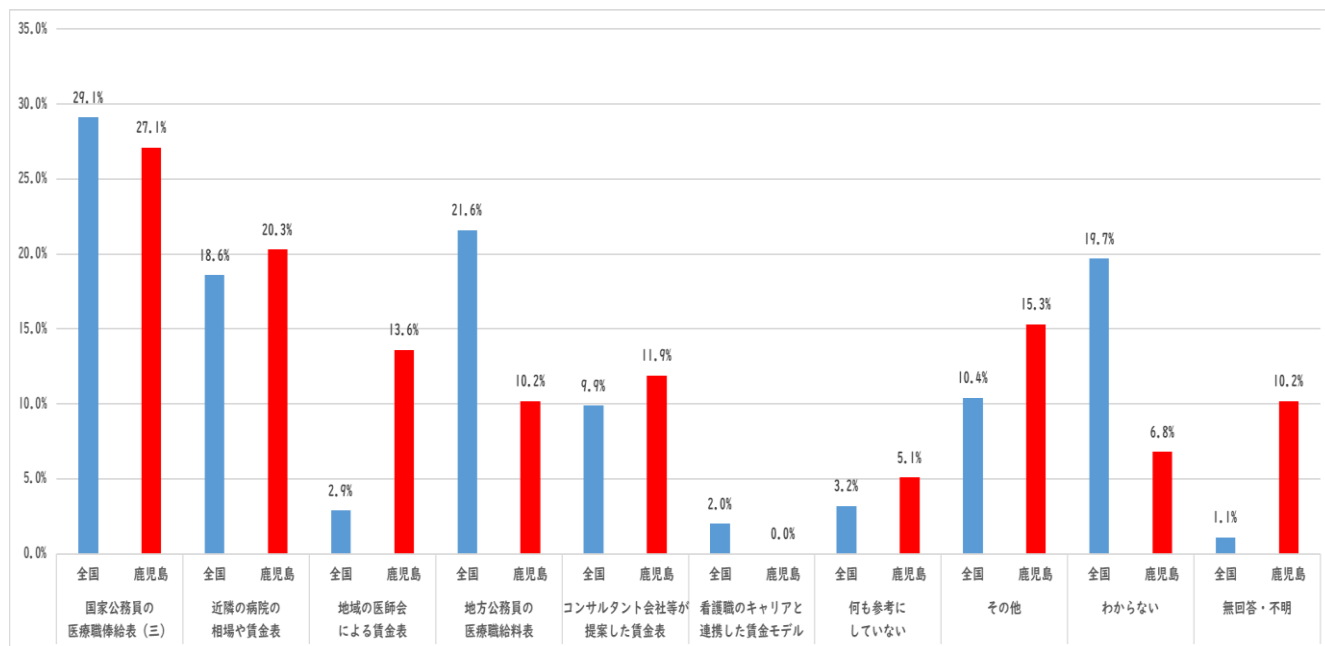
回答病院の賃金表は、全国と比較して鹿児島県の方が賃金表のある施設は多いが、公開している施設は少ない。

	賃金表がある	賃金表がない	無回答・不明
全国	75.0%	14.9%	10.1%
鹿児島	83.1%	16.9%	0.0%

	公開している	公開していない	わからない	その他	無回答・不明
全国	54.0%	41.2%	2.9%	1.8%	0.1%
鹿児島	35.6%	47.4%	0.0%	1.7%	15.3%

2. 賃金表作成の参考としたもの（複数回答）

賃金表作成については、「国家公務員の医療職俸給表（三）」を参考に賃金表を作成した病院が、全国同様、最も多くなっている。



3. 職群制の導入状況

職群制の導入は鹿児島県の方が若干多いが、全国と同様の傾向となっている。

	導入している	導入していない	わからない	無回答・不明
全国	12.9%	79.6%	7.0%	0.5%
鹿児島	13.6%	71.2%	3.4%	11.8%

4. 基本給与額の決定に用いている要素（複数回答）

基本給与額の決定に用いている要素は、全国と同様の結果となっている。

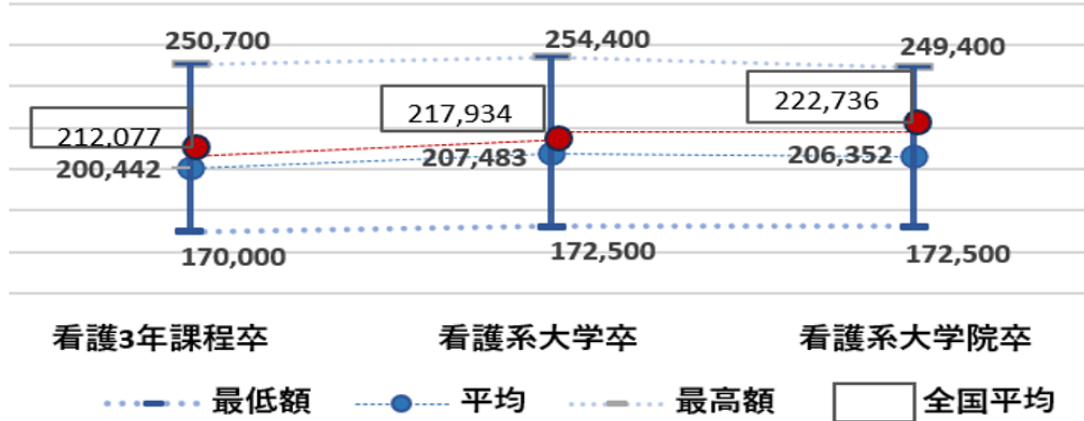
	全国 (%)	鹿児島 (%)
年功を基準としている（年齢・勤続年数等を基準）	83.0%	84.7%
職務を基準としている（業務内容・役割等を基準）	46.4%	47.5%
能力を基準としている（職務遂行能力のレベルおよびその伸長等を基準）	33.4%	35.6%
その他	3.1%	3.4%
無回答・不明	0.5%	8.5%

Ⅲ. 初任給

1. 新卒看護師初任給

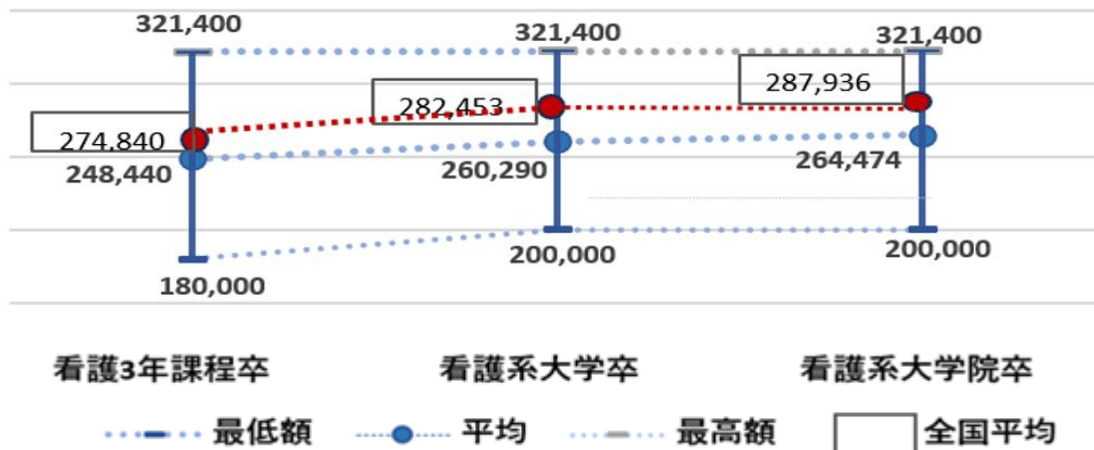
新卒看護師の看護3年課程卒の基本給をみると、全国212,077円に対し、鹿児島県200,442円で11,635円の差がある。2016年のデータ比較では全国198,668円・鹿児島県185,880円で、その差12,788円と共に基本給は上昇しているものの、鹿児島県と全国との差は縮まっていない。

1) 基本給



	看護3年課程	看護系大学卒	看護系大学大学院卒
全国	212,077	217,934	222,736
本県	平均	200,442	206,352
	最高	250,700	249,400
	最低	170,000	172,500
差額	△ 11,635	△ 10,451	△ 16,384

2) 税込給与総額

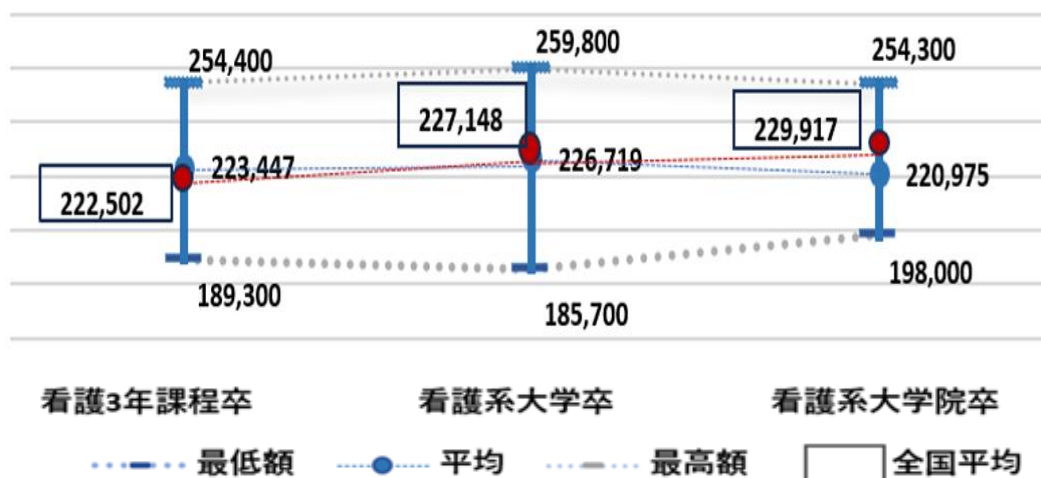


	看護3年課程	看護系大学卒	看護系大学大学院卒
全国	274,840	282,453	287,936
本県	平均	248,440	264,474
	最高	321,400	321,400
	最低	180,000	200,000
差額	△ 26,400	△ 22,163	△ 23,462

2. 新卒助産師初任給

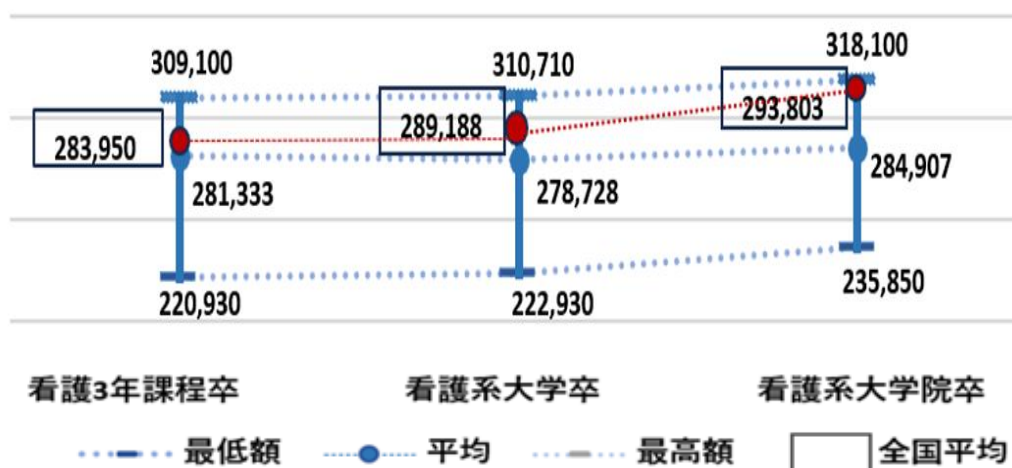
助産師は助産師学校・養成所卒の基本給と比較すると回答は少ないが、特に看護3年課程卒業生においては全国 222,502 円に対し 223,447 円と鹿児島県の方が高い結果となっている。

1) 基本給



		看護3年課程	看護系大学卒	看護系大学大学院卒
全国		222,502	227,148	229,917
本県	平均	223,447	226,719	220,975
	最高	254,400	259,800	254,300
	最低	189,300	185,700	198,000
差額		945	△ 429	△ 8,942

2) 税込給与総額



		看護3年課程	看護系大学卒	看護系大学大学院卒
全国		283,950	289,188	293,803
本県	平均	281,333	278,728	284,907
	最高	309,100	310,710	318,100
	最低	220,930	222,930	235,850
差額		△ 2,617	△ 10,460	△ 8,896

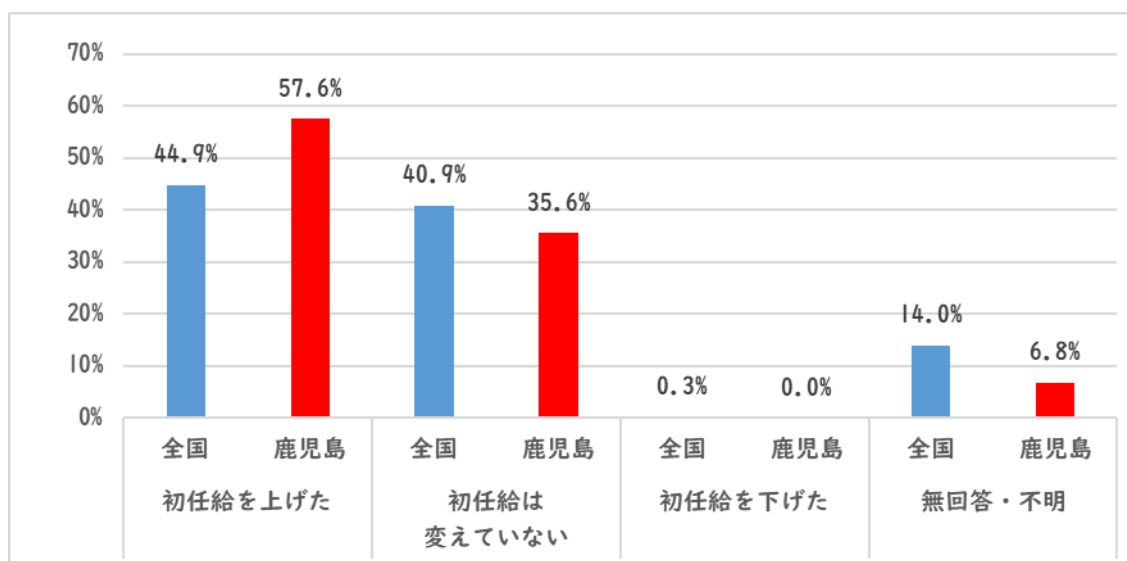
3. 准看護師初任給

		基本給	税込給与総額
本県	平均	165,748	204,689
	最高	179,400	257,400
	最低	142,000	167,000

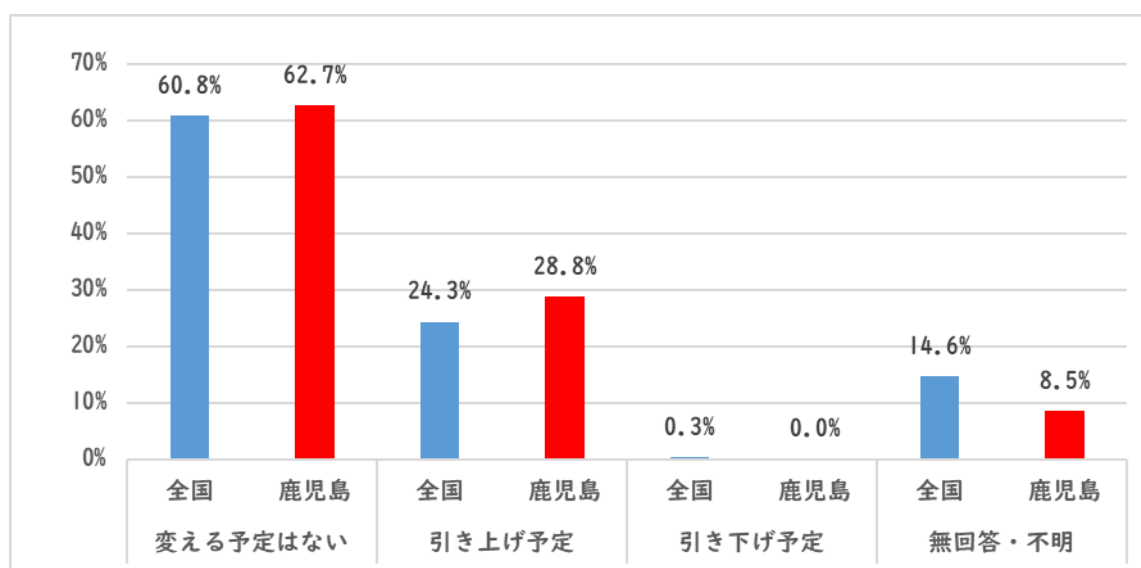
4. 初任給の改定状況

2022年以降の改定状況については、「初任給を上げた」割合が57.6%と全国より高く、2025年度の改定状況については、全国とほぼ同様の傾向となっている。

1) 2022年以降の初任給の改定状況



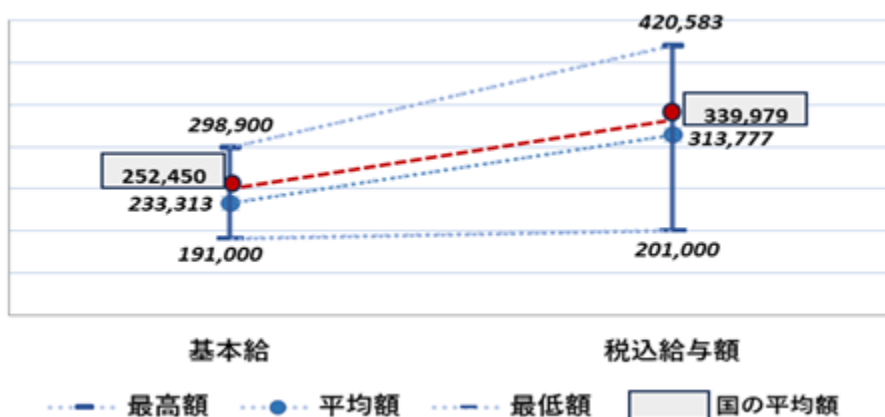
2) 2025年度の初任給基本給与額の改定状況



IV. 給与額

1. 勤続10年、31歳～32歳、非管理職の看護師の給与額（基本給・税込給与総額）

勤続10年、31歳～32歳、非管理職の看護師の基本給は、全国252,450円に対して、鹿児島県は233,313円と19,137円の差がある。



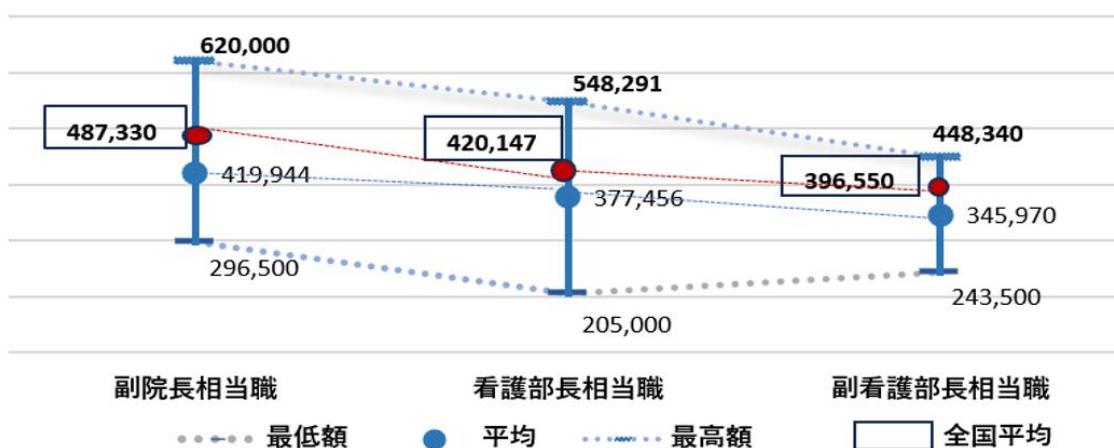
		基本給	税込給与総額
全国		252,450	339,979
本県	平均	233,313	313,777
	最高	298,900	420,583
	最低	191,000	201,000
差額		△19,137	△26,202

2. 職位別の給与額

給与額は基本給の平均で全職位において全国より低い結果となっており、給与額の最小値・最大値の差も大きい。

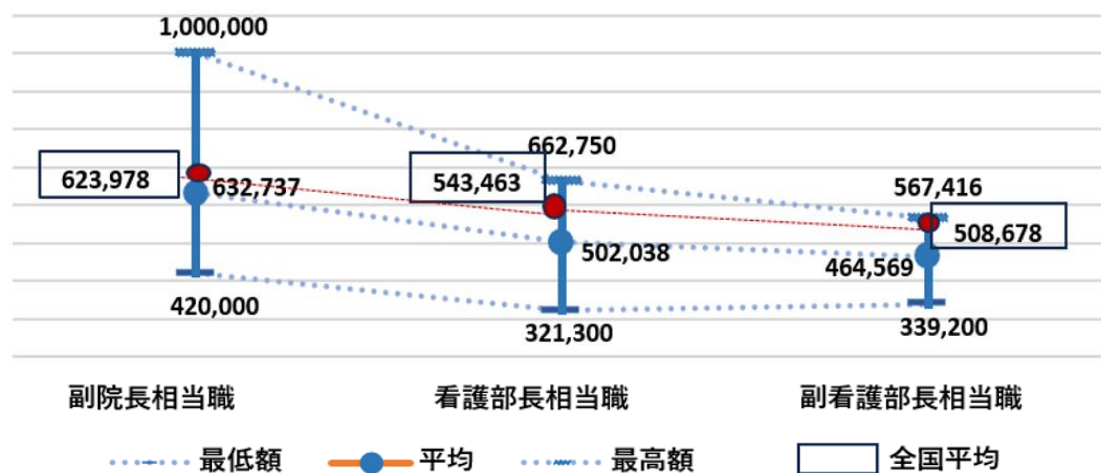
1) 副院長相当職（看護部長兼任）・看護部長相当職・副看護部長相当職

(1) 基本給



		副院長	看護部長	副看護部長
全国		487,330	420,147	396,550
本県	平均	419,944	377,456	345,970
	最高	620,000	548,291	448,340
	最低	296,500	205,000	243,500
差額		△67,386	△42,691	△50,580

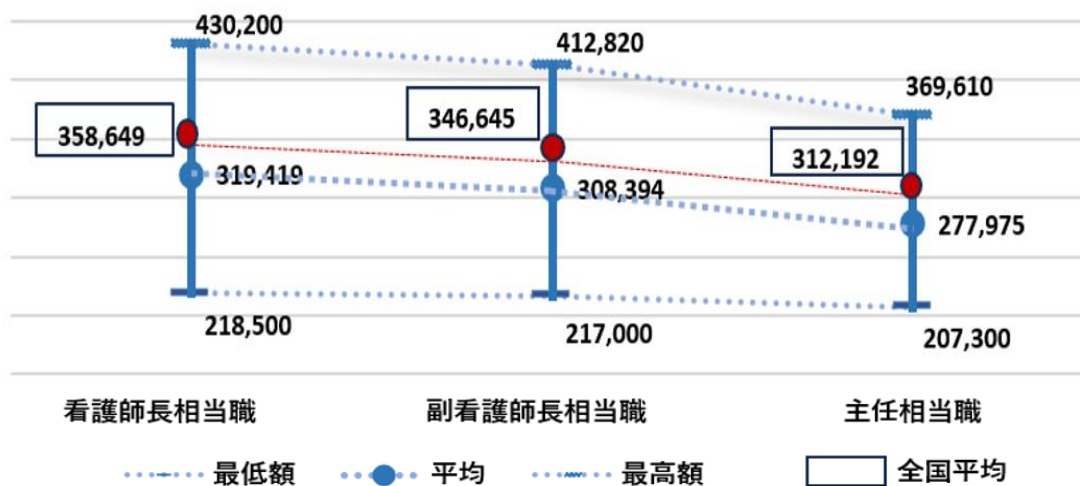
(2) 税込給与総額



		副院長	看護部長	副看護部長
全国		623,978	543,463	508,678
本県	平均	632,737	502,038	464,569
	最高	1,000,000	662,750	567,416
	最低	420,000	321,300	339,200
差額		8,759	△ 41,425	△ 44,109

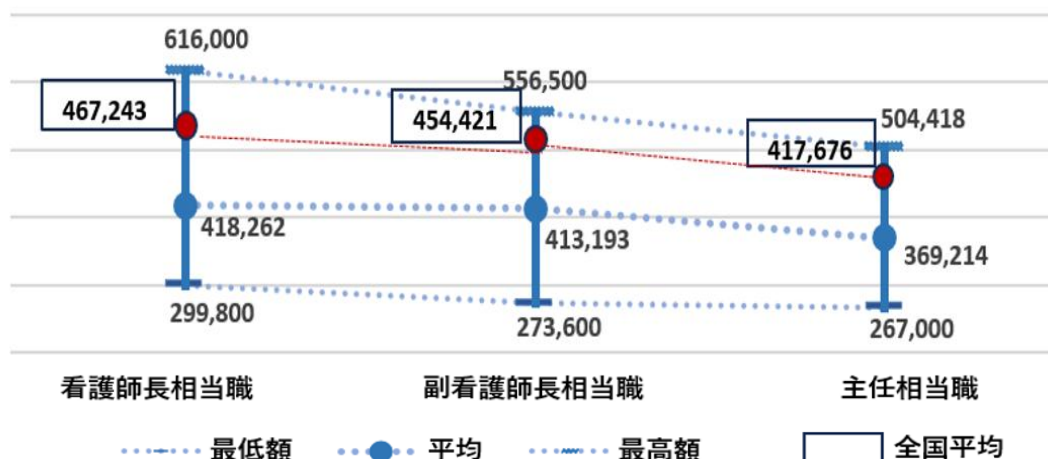
2) 看護師長相当職・副看護師長相当職・主任相当職

(1) 基本給



		看護師長	副看護師長	主任
全国		358,649	346,645	312,192
本県	平均	319,419	308,394	277,975
	最高	430,200	412,820	369,610
	最低	218,500	217,000	207,300
差額		△ 39,230	△ 38,251	△ 34,217

(2) 税込給与総額



		看護師長	副看護師長	主任
全国		467,243	454,421	417,676
本県	平均	418,262	413,193	369,214
	最高	616,000	556,500	504,418
	最低	299,800	273,600	267,000
差額		△ 48,981	△ 41,228	△ 48,462

V. 昇給・昇格の条件

1. 昇給

「年齢や勤続年数」「非管理職の人事評価」に基づく昇給は全国とほぼ同様の回答となっているが、「人事評価（査定）の本人へのフィードバック」は、全国に比べて低い回答となっている。

1) 年齢や勤続年数に基づく昇給

	ある	なし	無回答・不明
全国	75.0%	13.3%	11.8%
鹿児島	76.3%	16.9%	6.8%

2) 年齢による昇給停止の有無

	ある	なし	無回答・不明
全国	73.9%	25.0%	1.1%
鹿児島	62.7%	20.3%	17.0%

昇給停止の年齢

全国	57.1歳
鹿児島	57.6歳

3) 非管理職の人事評価（査定）に基づいた昇給

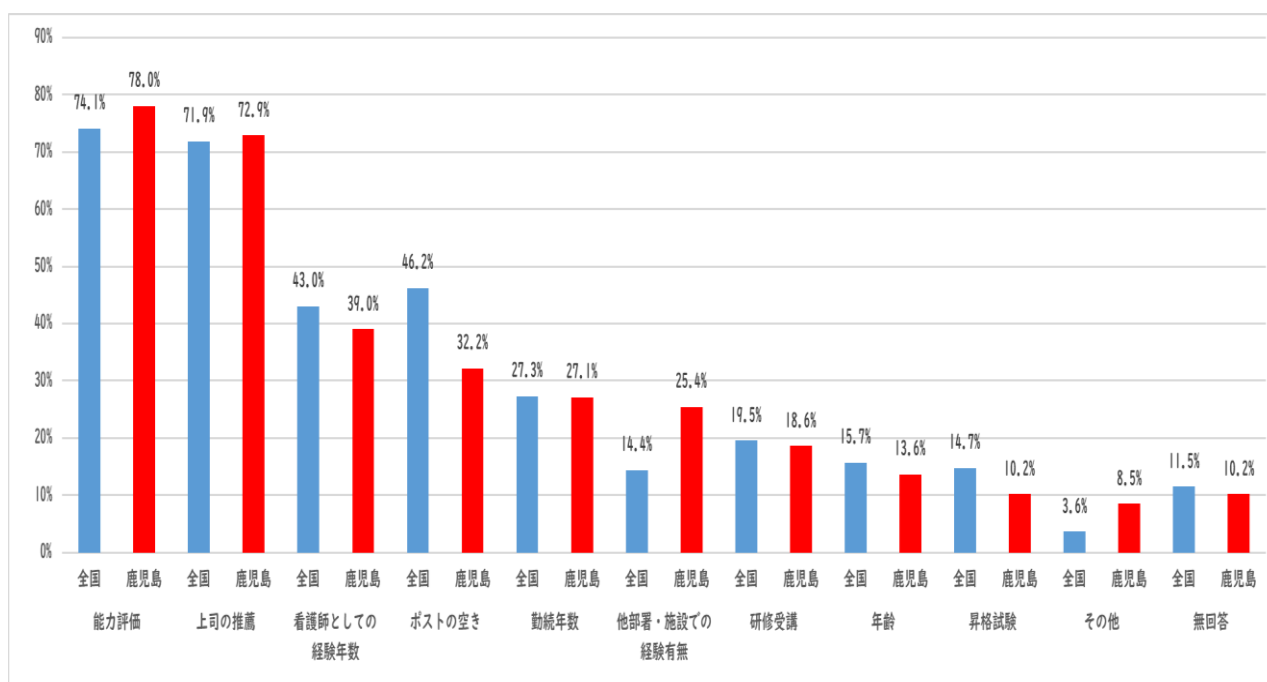
	ある	なし	無回答・不明
全国	43.4%	44.3%	12.2%
鹿児島	49.2%	40.7%	10.1%

4) 人事評価（査定）の本人へのフィードバック

	ある	なし	無回答・不明
全国	76.0%	22.7%	1.3%
鹿児島	40.7%	15.3%	44.0%

2. 昇格の条件（複数回答）

昇格の条件は、全国と同じ傾向である。



VI. 賞与

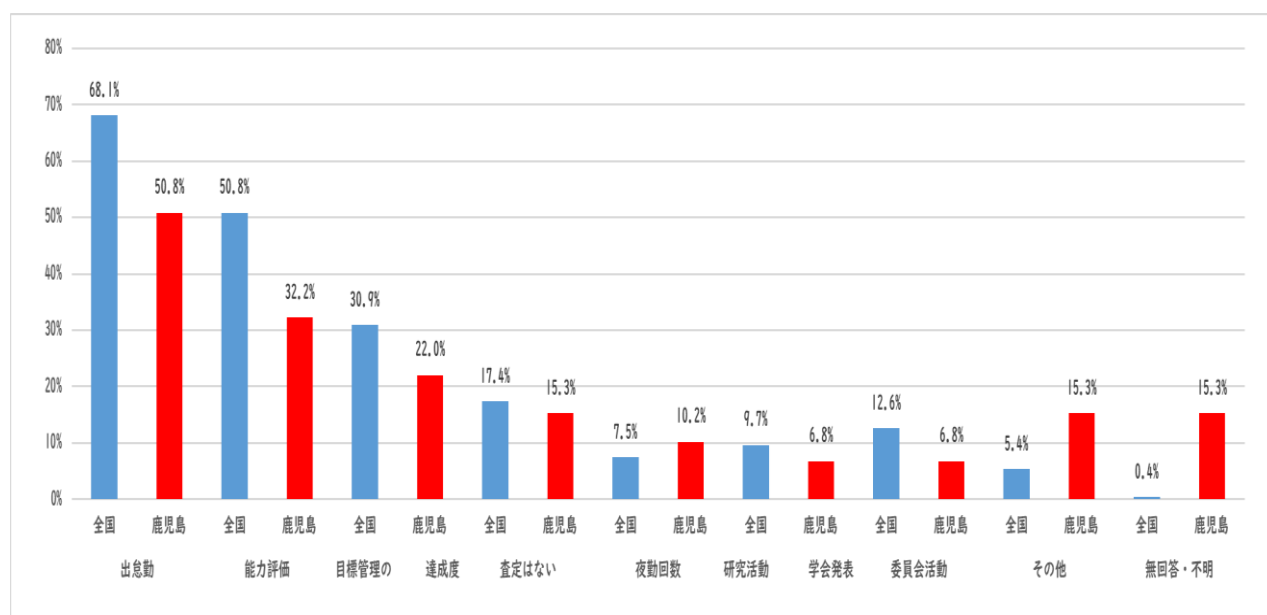
1. 賞与支給の有無

賞与の支給状況は全国と同様である。

	支給した	支給なし	無回答・不明
全国	88.0%	0.7%	11.3%
鹿児島	91.5%	0.0%	8.5%

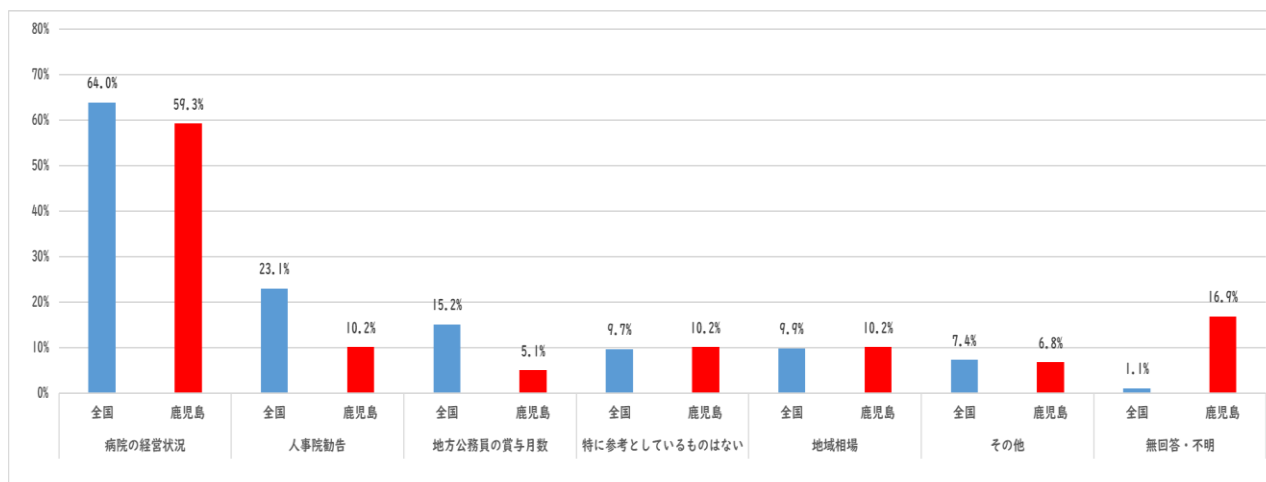
2. 賞与額の査定基準（複数回答）

賞与額の査定基準は全国とほぼ同様の傾向である。



3. 賞与額の決定に参考としている要素（複数回答）

賞与額の決定に参考としている要素は全国と同様の傾向であるが、「人事院勧告」「地方公務員の賞与月数」は全国より低い。



Ⅶ. 夜勤手当

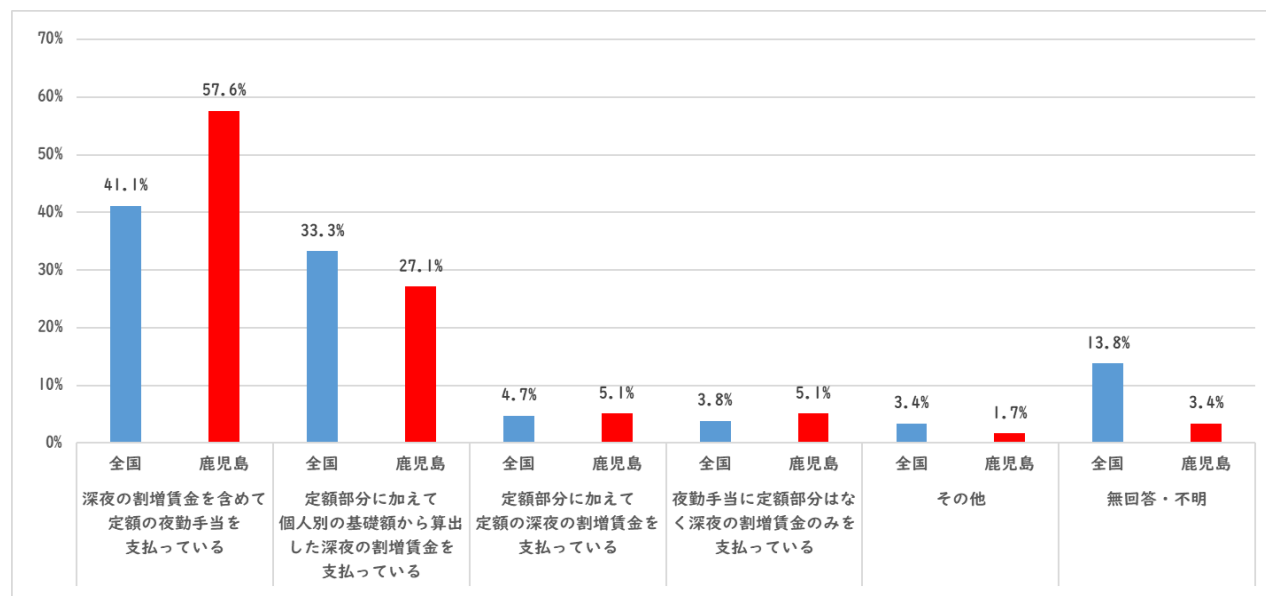
1. 夜勤手当額（平日）

夜勤手当額の3交代制は全国と大きな差はないが、2交代制は全国より大幅に上回っている。一方、オンコール手当・当直手当・管理当直手当は全国より低い。

		全国	鹿児島	
夜勤手当額	3交代制	準夜勤	4,567	4,462
		深夜勤	5,715	5,292
	2交代制	11,815	13,396	
オンコール手当額		2,292	1,819	
当直手当額		9,121	8,075	
管理当直（看護師長相当額）		10,953	8,741	

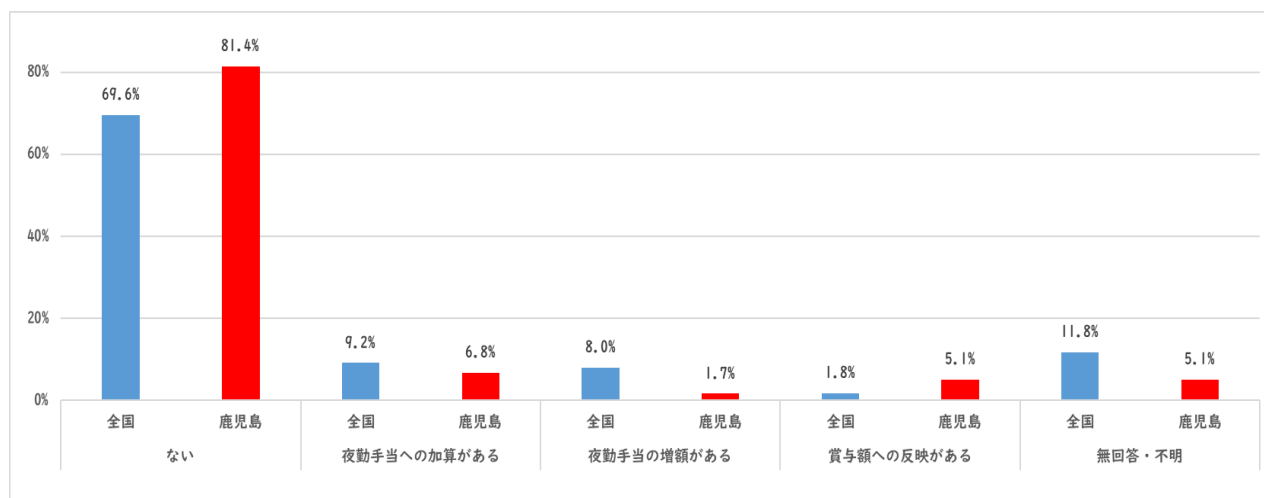
2. 22時から5時までの深夜時間帯の割増賃金

22時から5時までの深夜時間帯の割増賃金は、定額の夜勤手当支払いが全国より多い。



3. 月あたりの夜勤回数が一定回数を超えた場合の夜勤手当の増額・加算制度

月あたりの夜勤回数が一定回数を超えた場合の夜勤手当の増額・加算制度がないと回答した割合は全国より高い。



4. 夜勤交代制勤務者の一か月あたりの所定労働時間

夜勤交代制勤務者の一か月あたりの所定労働時間は全国より高い。

全国	158.5時間
鹿児島	162.7時間

5. 夜勤専従者の処遇

夜勤専従者の処遇については、「夜勤専従者の有無」「一か月あたりの平均所定労働時間」「負担軽減のための特別休暇の付与や労働免除」は全国と同様であるが、「特別な手当あり」は全国より低く、その平均手当額は全国と大きな差がみられる。

1) 夜勤専従者の有無

	夜勤専従者がいる	夜勤専従者がいない	無回答・不明
全国	41.7%	46.5%	11.8%
鹿児島	47.5%	49.2%	3.3%

2) 夜勤専従者に対する特別な手当の有無

	ある	なし	無回答・不明
全国	14.2%	84.9%	0.9%
鹿児島	7.1%	92.9%	0.0%

3) 夜勤専従者に対する平均手当額

全国	25,000
鹿児島	5,000

4)夜勤専従者一か月あたりの平均所定労働時間

全国	135.3時間
鹿児島	138.3時間

5)夜勤専従者の負担軽減のための特別休暇の付与や労働免除

	ある	なし	無回答・不明
全国	20.7%	74.9%	4.4%
鹿児島	25.0%	67.9%	7.1%

VIII. 役職者の手当

1. 管理職手当の有無

管理職手当の有無は、全職位において全国より高い。

		全国	鹿児島
看護部長相当職	あり	76.4%	88.1%
	なし	10.0%	5.1%
	無回答・不明	13.6%	6.8%
副看護部長相当職	あり	55.8%	62.7%
	なし	21.3%	22.0%
	無回答・不明	22.9%	15.3%
看護師長相当職	あり	75.0%	86.4%
	なし	12.2%	10.2%
	無回答・不明	12.8%	3.4%

2. 管理職手当

管理職手当は、全職位において全国より少ない。

	全国	鹿児島
看護部長相当職	84,948	73,360
副看護部長相当職	64,608	58,211
看護師長相当職	49,588	42,757

3. 管理職手当の算定方法

管理職手当の算定方法は「無回答・不明」も多く、数値に差があるものの全国と同様の傾向である。

		看護部長相当職	副看護部長相当職	看護師長相当職
定額（等級等によらず一律）	全国	56.2%	58.9%	62.3%
	鹿児島	49.2%	39.0%	55.9%
定額（等級等によって異なる）	全国	32.9%	30.9%	27.0%
	鹿児島	22.0%	16.9%	20.3%
基本給等の定率	全国	8.3%	7.4%	7.0%
	鹿児島	10.2%	10.2%	11.9%
無回答・不明	全国	2.7%	2.7%	3.7%
	鹿児島	18.6%	33.9%	11.9%

4. 看護師長への時間外手当の支給

看護師長への時間外手当の支給は、鹿児島県の方が多くなっている。

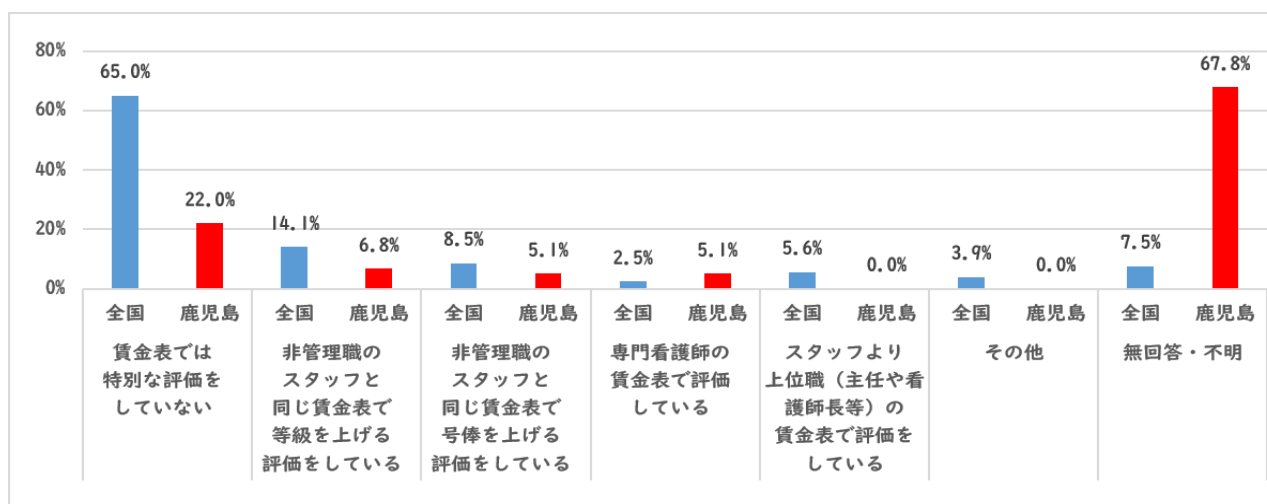
	支給対象である	支給対象ではない	無回答・不明
全国	46.1%	41.4%	12.4%
鹿児島	64.4%	30.5%	5.1%

IX. 専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者の処遇

1. 専門看護師の処遇

専門看護師の評価方法は、「無回答・不明」も多く数値に差がみられるが、「賃金表では特別な評価をしていない」割合は全国に比べ低くなっている。また、「手当あり」の割合も全国より低い。

1) 専門看護師の基本給与額の評価方法（複数回答）



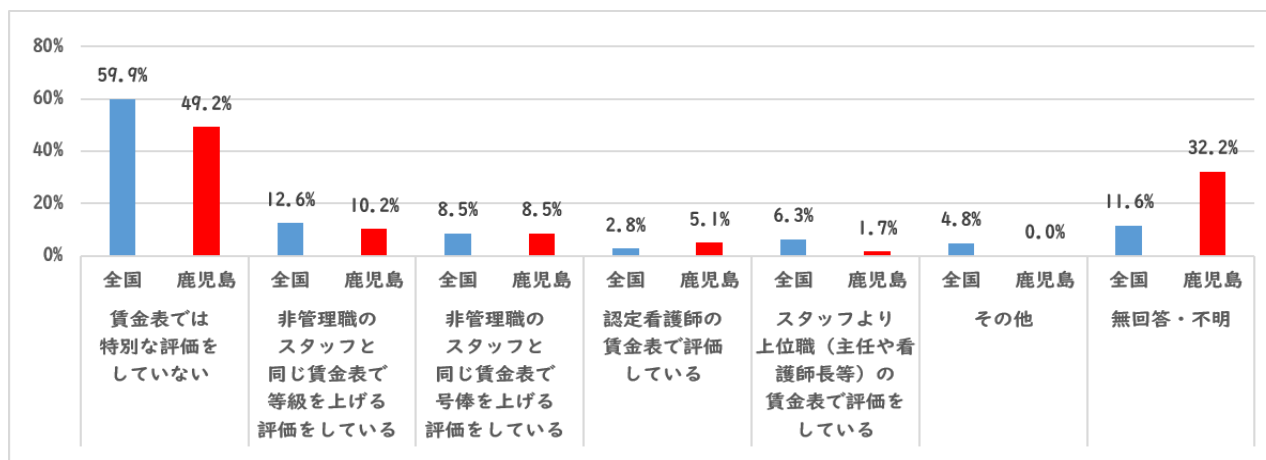
2) 専門看護師手当の有無および手当額

	ある	ない	無回答・不明	平均手当額
全国	47.0%	49.7%	3.2%	11,857
鹿児島	15.3%	18.6%	66.1%	12,583

2. 認定看護師の処遇

認定看護師の処遇は、「無回答・不明」も多く、数値に差があるものの全国と同様の傾向である。

1) 認定看護師の基本給与額の評価方法（複数回答）



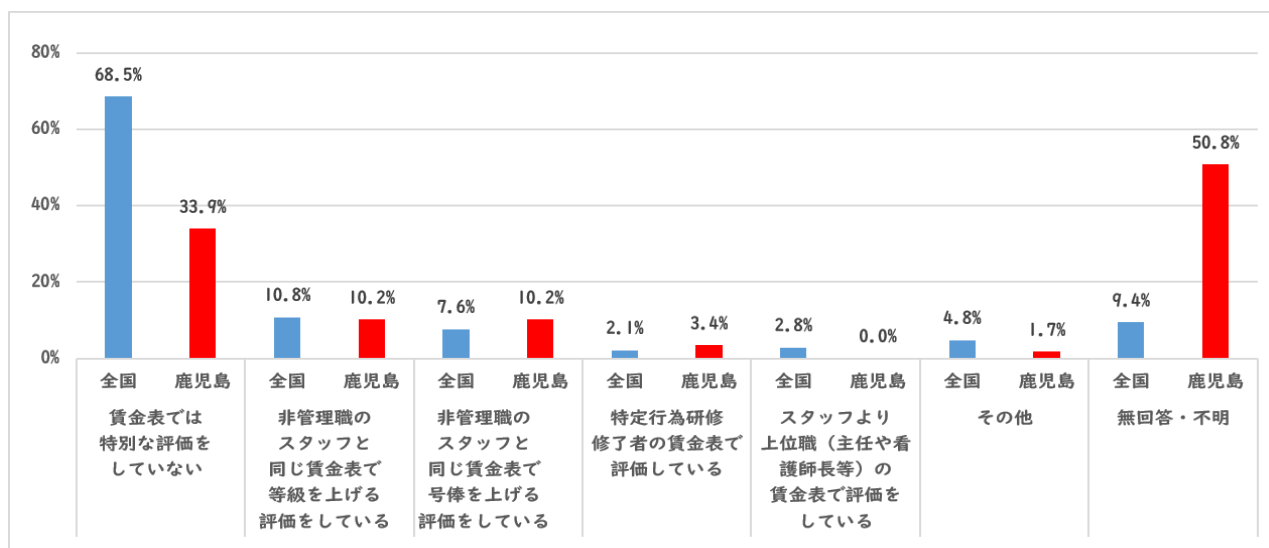
2) 認定看護師手当の有無および手当額

	ある	ない	無回答・不明	平均手当額
全国	49.5%	46.9%	3.6%	11,228
鹿児島	40.7%	28.8%	30.5%	15,223

3. 特定行為研修修了者の処遇

特定行為研修修了者の評価方法については、「無回答・不明」も多く数値に差があるが、「賃金表では特別な評価をしていない」割合は全国より低い。

1) 特定行為研修修了者の給与額の評価方法（複数回答）



2) 特定行為研修修了者の手当の有無および手当額

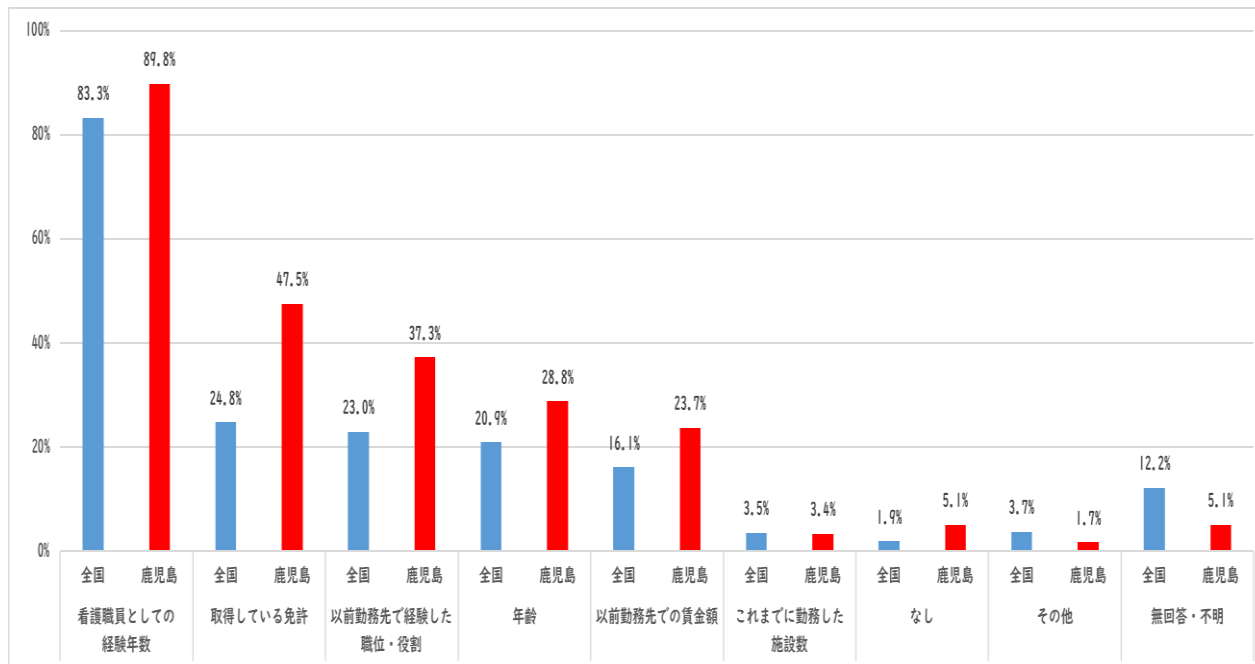
	ある	ない	無回答・不明	平均手当額
全国	30.5%	66.2%	3.3%	11,644
鹿児島	27.1%	28.8%	44.1%	12,750

X. 中途採用者・再雇用者の賃金

1. 看護師を非管理職として中途採用する場合の賃金

看護師を非管理職として中途採用する場合の賃金の査定基準は「経験年数」「取得している免許」「以前勤務先で経験した職位・役割」「年齢」「以前の勤務先での賃金額」が全国より高い。また、「再評価を行っている」の割合も全国より高い。

1) 看護職を非管理職として中途採用する場合の賃金の査定基準（複数回答）



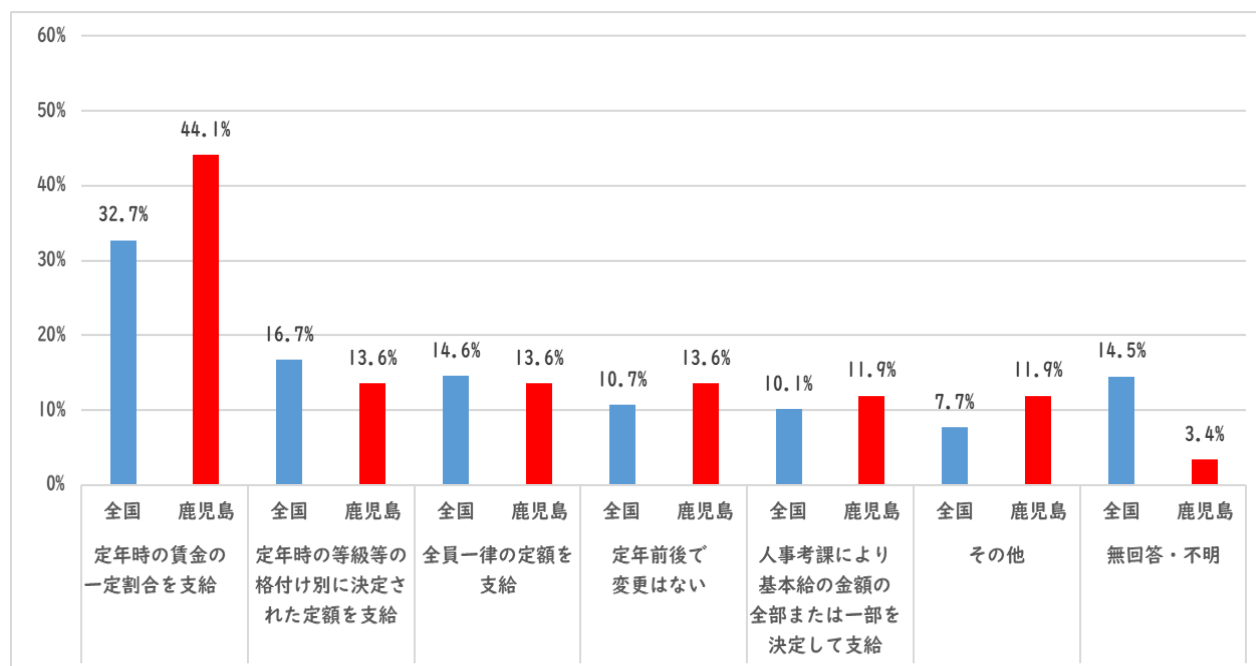
2) 看護職を非管理職として中途採用する場合の賃金査定の再評価

	一定期間において再評価を行っている	再評価は行っていない	無回答・不明
全国	17.7%	69.6%	12.7%
鹿児島	20.3%	71.2%	8.5%

2. 定年退職後に再雇用で継続して就業している看護師の賃金

基本給の設定は、「定年時の賃金の一定割合を支給」の割合が最も多く、また「賞与支給あり」の割合も全国より高い。

1) 看護師を非看護職（常勤・フルタイム）として再雇用する場合の基本給の設定（複数回答）



2) 非管理職（常勤・フルタイム）として再雇用した看護師への賞与支給の有無

	支給あり	支給なし	該当者いない	無回答・不明
全国	65.2%	17.2%	5.2%	12.4%
鹿児島	84.7%	8.5%	1.7%	5.1%

XI. 国の処遇改善施策への対応

1. 看護職員処遇改善評価料

看護職員処遇改善評価料を算定している割合は、全国と同様の傾向となっている。

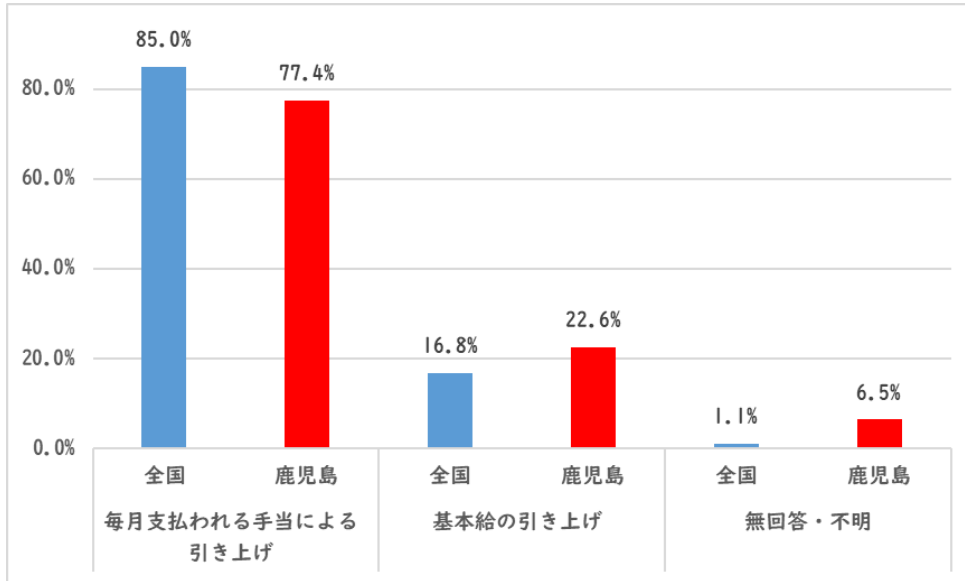
1) 看護職員処遇改善評価料の算定対象医療機関該当状況

	算定対象医療機関である	算定対象医療機関ではない	無回答・不明
全国	53.4%	32.8%	13.8%
鹿児島	52.5%	39.0%	8.5%

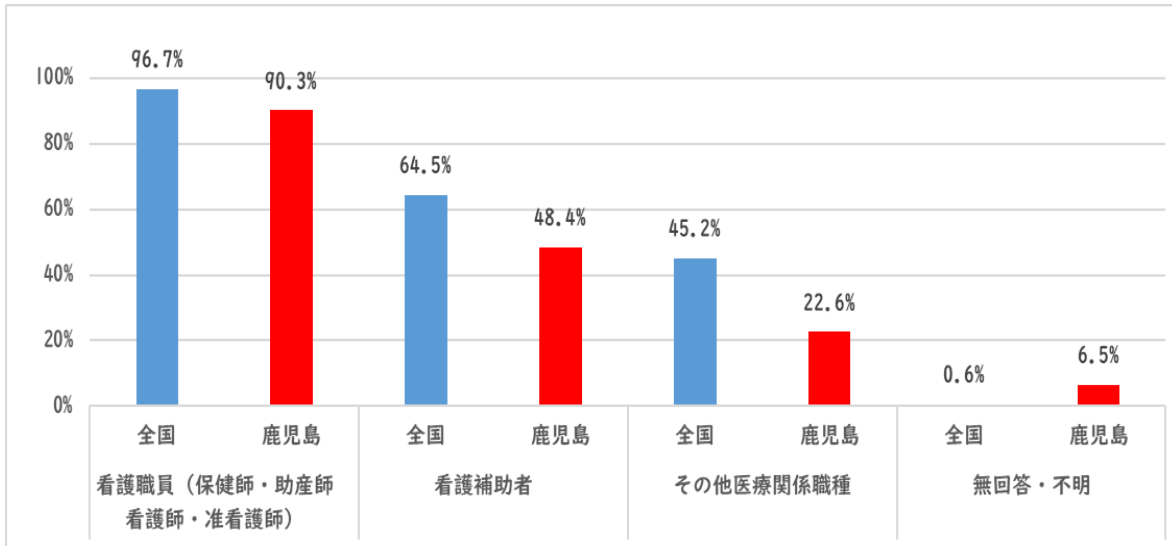
2) 看護職員処遇改善評価料の算定の有無

	算定している	算定していない	無回答・不明
全国	95.1%	4.5%	0.4%
鹿児島	90.3%	3.2%	6.5%

3)看護職員処遇改善評価料による看護職員の賃金の引き上げ方法（複数回答）



4)看護職員処遇改善評価料による看護職員の賃金の引き上げの対象職種（複数回答）



2. ベースアップ評価料

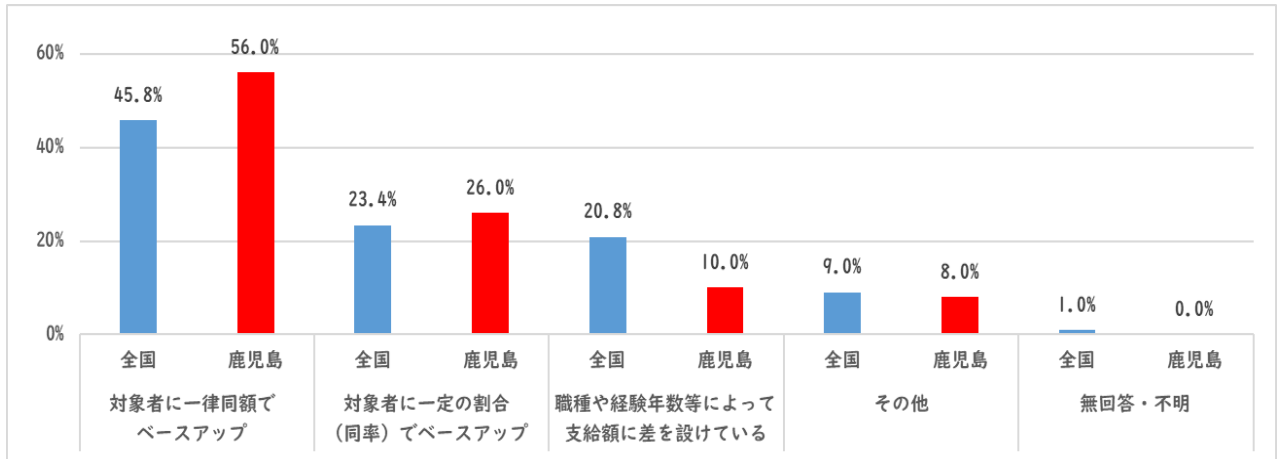
ベースアップ評価料を「算定している」割合は全国より高い。

分配方法は「対象者に一律同額でベースアップ」の割合が最も多くなっており、「職種や経験年数によって支給額に差を設けている」の割合は全国より低い。また、賃金の引き上げ方法は、全国とほぼ同様の傾向となっている。

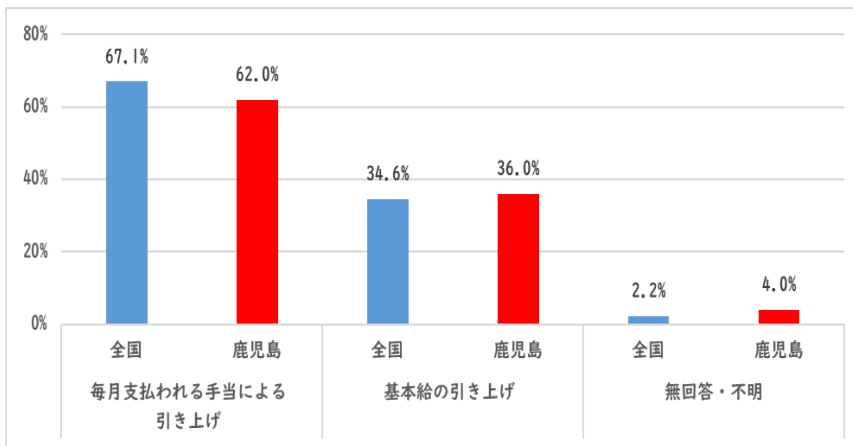
1)ベースアップ評価料の算定状況

	算定している	届け出を検討中	届け出の予定はない	わからない	無回答・不明
全国	73.2%	2.6%	4.8%	6.4%	12.9%
鹿児島	84.7%	0.0%	0.0%	8.5%	6.8%

2) ベースアップ評価料の分配方法



3) ベースアップ評価料による賃金の引き上げ方法 (複数回答)

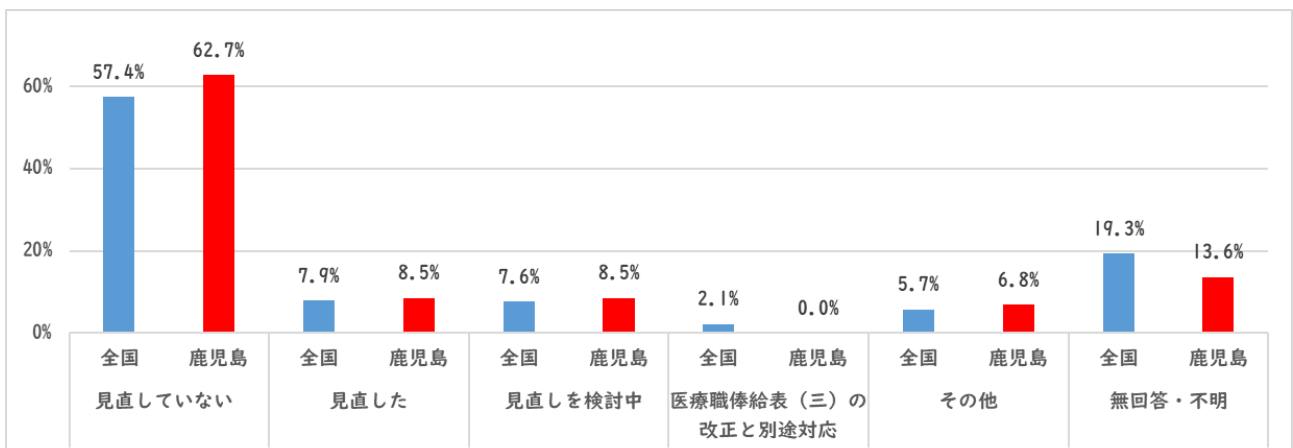


4) ベースアップ評価料を原資とする看護職員の賃金のベースアップ予定割合

全国	3.5%
鹿児島	3.9%

3. 国家公務員医療職俸給表(三)の級別標準職務表の改正を受けた賃金制度の見直し状況

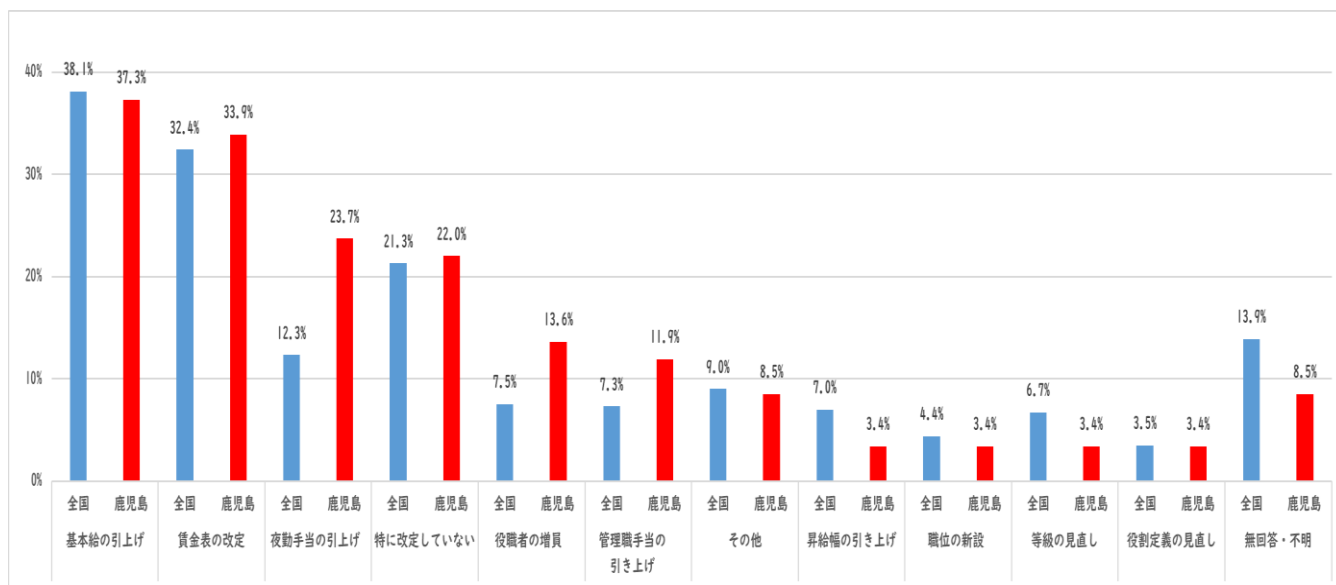
国家公務員医療職俸給表(三)の級別標準職務表の改正を受けた賃金制度の見直し状況はほぼ全国と同様の結果である。



XII. 看護職員に対する賃金処遇・評価改善への対応

1. 2020年以降の看護職員の賃金制度・水準に関する改定内容（複数回答）

全国と比較してほぼ同様の傾向となっているが、「夜勤手当の引き上げ」については全国より高く、積極的に実施されている。



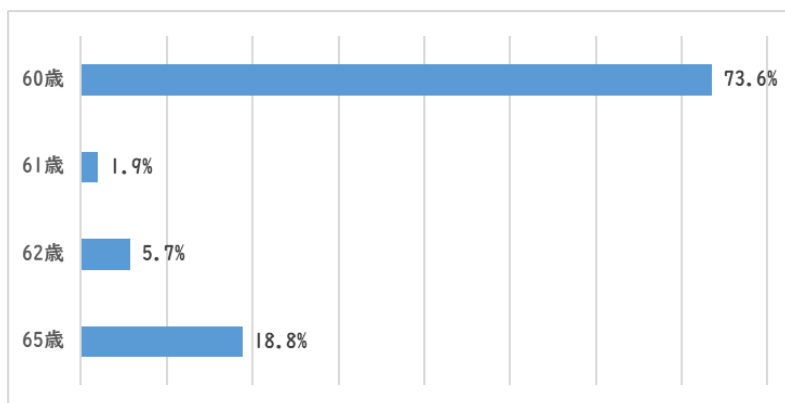
以下、鹿児島県独自の調査結果

XIII. 定年制度

1. 定年制度の有無

ある	ない	無回答・不明
98.3%	0.0%	1.7%

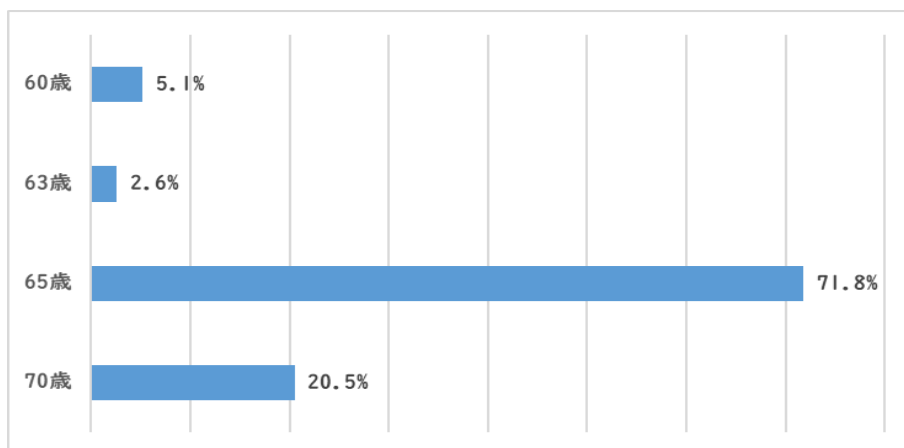
2. 定年の年齢 平均 61歳



3. 再雇用後の年齢制限 平均 66歳

ある	ない	無回答・不明
69.5%	25.4%	5.1%

4. 再雇用後の年齢制限がある施設



5. 再雇用時（フルタイム）の給与減額の有無

ある	ない	無回答・不明
69.5%	16.9%	13.6%

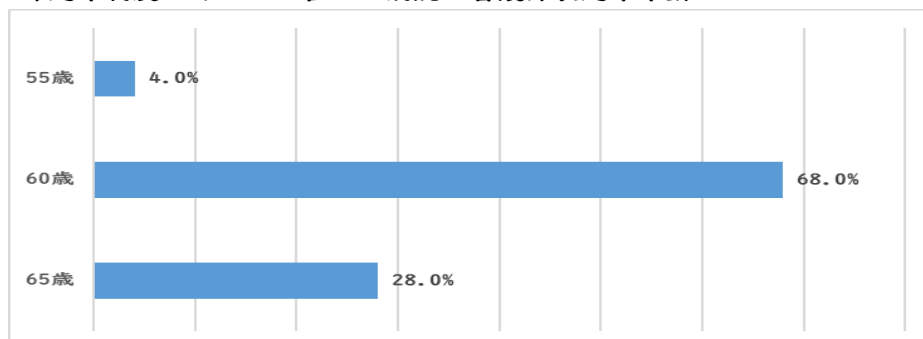
減額率 25.2%

6. 役職定年制度

1) 看護部長の定年制度の有無 平均 61 歳

ある	ない	無回答・不明
42.4%	50.8%	6.8%

2) 定年制度があると回答した病院の看護部長定年年齢



3) 看護師長の定年制度の有無 平均 60 歳

ある	ない	無回答・不明
42.4%	50.8%	6.8%

4) 定年制度があると回答した病院の看護師長定年年齢

